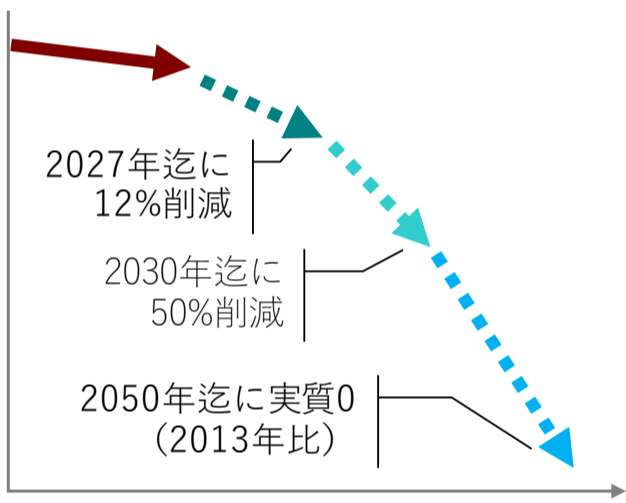




# 誰もが住み続けられる、人間と環境に優しい 持続可能なまちづくりをすすめます。 エコアクション21に基づき、低エネルギー 社会の実現に貢献します。

京都保健会CO2削減削減目標



## 省エネ、クリーンエネルギー利用でSaveEarth Co2排出量削減、「原発ゼロ」をめざします

- CO2削減に積極的にとりくみ、LEDや省エネ機器、太陽光発電の導入、食料廃棄削減などで、法人全体5年間でCO2の12%削減、2030年までに50%、2050年に実質0 (2013年比) の実現。
- 法人BCPの策定 (京都保健会SDGs宣言書より)

みなさまのご理解・ご協力をお願いいたします



京都保健会SDGs 宣言の「CO2 削減に積極的にとりくみ、LED や省エネ機器、太陽光発電の導入、食料廃棄削減などで、法人全体5年間でCO2の12%削減、2030年までに50%、2050年に実質0 (2013年比)」を実現するため、「エコアクション21推進チーム」を設置しました。チームは、以下を提案、計画、具体化をはかります。

▼太陽光発電設備は自己所有を前提にBCP対策として検討をすすめます。グリーン電力は積極的に採用し、Co2排出量ゼロ発電の比率を2030年50%、2040年75%、50年100%に向け計画します。

▼省エネ機器、自動車・バイクの更新は、2050年に全ての設備・機器等の省エネ対応を求めます。自動車・バイクの節目標は、2030年30%、2035年50%、2040年70%、2050年100%のエコカーへの更新・導入をめざします。CO2 排出量ゼロのエコカー比率を2030年に20%、2040年40%、2050年100%とします。当面の対策として、2025年までに自動水栓の導入、照明の人感センサーの導入、2027年までにLED照明への更新、節水対応トイレに更新します。

▼フードロス削減は、2030年までに廃棄量を半分以下にすることをめざします。また、廃棄食品を堆肥に変えていくコンポストを検討します。農産物等の地産地消、規格外品の活用を考えていきます。

▼各事業所で緑を増やす(緑化/グリーン)取り組みを求めます。屋上、屋内、壁面、地上など緑化の可能性がある場所を選び、「1事業所1緑化」を実践することを求めます。

▼全職員が、エコアクション21=カーボンフリーに向けた取り組み、そしてSDGsへの取り組みを理解し、同じベクトルでこの活動に協働してもらえるよう学習やイベント、アピール等をすすめます。また、対外的なアピールを推進し、当会の活動を広く知ってもらうことにより、地域社会との協働をめざします。

エネルギー別Co2排出量  
京都保健会2022年度合計(t)

